

消火器の使い方



消火器は法令により、事業所等に設置義務があり、一般住宅への設置義務はありませんが、初期消火の道具としてとても有効です。消火器の特徴や使い方を確認し、万が一の際に正しく使用できるようにしておきましょう。各家庭で購入する際は、一般住宅で使用しやすいように開発された「住宅用消火器」をおすすめします。

【住宅用消火器の特徴】

住宅用消火器には、次のような特徴があります。

- ・家庭内で想定される火災に対応した絵表示が示されている。
- ・ホースのないものが多く、軽量。女性やお年寄りでも操作しやすく、火元を狙いやすい。
- ・メンテナンスの必要がないため、使用有効期限が表示されている。
- ・事業所等にある業務用消火器と違い、外面が赤以外のものもあり、カラフルでデザインが豊富。
- ・ゲージ（圧力計）により内部圧力が確認できる。

【消火器の使い方】



- ①安全栓を引き抜きます。
- ②ノズルまたはホースを火元に向けます。※ホースを持つときは先端側を持ちます。
- ③レバーを握り、燃えているものに放射します。

（使用上の注意点）

- ・火元に近づきすぎず、火元からある程度離れたところに消火器を運びます。
- ・煙等で見えづらくなっていますが、しっかり燃えているものを狙って放射します。
- ・屋内で薬剤を放射すると、煙や薬剤に自分がまかれる恐れがあるので、必ず逃げ道を確認してください。
- ・住宅用消火器は約 12～22 秒間薬剤が放出されます。放射時間は意外と短いので注意してください。
※薬剤放射時間は各メーカーによって異なりますので、取扱説明書をお読みください。
- ・天井まで炎が届いたら、消火器での初期消火は難しいので、すみやかに避難してください。